

平成１９年度知識集約型産業創造対策事業交付決定団体一覧

	提案課題名	事業内容	事業実施主体	予定事業費 (千円)	うち、国費 (千円)	交付決定年月日
1	安価で簡易な硝酸態窒素の測定技術の確立による産地形成及び国産野菜への信頼と需要の促進	野菜に含まれる硝酸態窒素の含有量を安価かつ簡易に測定できる機器の利用技術の確立及び普及を促進することで野菜産地の育成を促進する。	(財) 農産業振興奨励会	9,050	9,050	平成19年6月27日
2	米輸出のための生産工程管理マニュアルの策定と輸出対応型共同乾燥調製施設に係る標準仕様の開発	農業機械・施設メーカー等の民間企業を含めた米輸出推進委員会を設置し、米輸出のための生産工程管理マニュアルと輸出対応型共同乾燥調製施設に係る標準仕様の作成を行う。また、輸出向けの米くん蒸マニュアルを作成し、米の輸出に際して必要となる検疫措置への対応を進める。	(財) 農産業振興奨励会	8,900	8,900	平成19年6月27日
3	圧縮梱包加工技術を用いた国産稲わら広域流通実験事業	収集されたロール形状の稲わらを、稲わら需要地帯の肥育農家等に輸送効率の良い、高品質で利便性の高い圧縮加工した小型バール形状で提供するため、圧縮加工技術を用いた稲わらの広域流通に係る実験を行う。	全国農業協同組合連合会	8,588	8,588	平成19年7月4日
4	放牧牛乳の認証方法の検討とマーケティング調査	放牧で生産される牛乳の差別化をはかり、消費者の信頼に応えるために放牧牛乳に特異的に含まれる成分等を利用した認証方法を検討する。また、放牧牛乳に対するマーケティング調査を行い商品化や地域ブランドを確立するための課題を整理する。	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所	9,500	9,500	平成19年7月12日
5	農業生産資材低減推進調査	食料供給コストの縮減が強く求められている中であって、更なる生産資材費の低減に向けて、担い手の農業機械の整備等に対する意識調査や国内外の農業機械の流通等実態調査を行い、それらを踏まえた農業機械の大幅な低減を目指した革新的な資材の物流・利用モデル等の策定を目指す。	(社) 日本農業機械化協会	8,753	8,753	平成19年6月28日
6	地産地消国際シンポジウム ーみんなで取り組む地産地消をめざしてー	諸外国において食と農の接近を図る取組を行っている関係者を招聘し、我が国の関係者と共に「地産地消国際シンポジウム」を開催する。	(社) 国際農業者交流協会	9,380	9,380	平成19年6月5日
7	施設園芸における石油使用量の構造解析に基づく削減方針の提案とその経済効果および環境効果の推定	施設園芸における石油使用量の構造解析に基づく削減方針の提案とその経済効果及び環境効果を推定する。また、省資源・脱石油方策、石油使用量削減による経済・環境効果を明らかにする。	(社) 日本施設園芸協会	7,858	7,858	平成19年6月15日
8	農業機械におけるバイオ燃料の利用促進に向けた取組手法の調査・分析について	農業機械へのバイオディーゼル燃料(BDF)の利用拡大を図るため、利用に係る技術的課題などの各種情報を収集・分析し、農業機械メーカーが今後取り組むべき課題等を明らかにすることにより農業機械メーカーの対応を促進するとともに、農業機械におけるBDF利用に際して農業者が留意すべき事項等を取りまとめたガイドラインを策定する。	(社) 日本農業機械工業会	5,296	5,296	平成19年7月10日
9	野菜加工残さや豊作時の需給調整のための野菜等を原料としたエタノールおよび水素の製造可能性調査	野菜の加工残さや豊作時における過剰野菜を原料としたエタノールや水素などの次世代エネルギーへの再資源化の可能性を調査し、実用化に向けた検討を行う。	大阪大学大学院工学研究科	9,687	9,687	平成19年6月28日
10	草本系バイオマス燃料の活用を推進するバイオマス利活用支援システムの構築	バイオマス関連事業の事例収集、草本系バイオマスからのバイオ燃料化技術データ収集及び経済分析に係るデータ収集し、モデルとなるバイオマス利活用推進シナリオの作成を行うとともに、ホームページ上でバイオマス関連事業の経済性、環境負荷等の評価が可能となる利活用支援システムを構築する。	復建調査設計株式会社	5,110	5,110	平成19年7月9日
11	DNA品種識別技術の妥当性の確認に関する調査	開発されたDNA品種識別技術が妥当なものであるかを検証する方法について、国際基準に関する情報収集を行い、標準的な妥当性検証の手順書を作成する。また、手順書を踏まえて複数の協力研究室の参加により共同試験を実施し、手順書に反映させる。	(独) 種苗管理センター	9,430	9,430	平成19年6月5日
12	花き新品種の開発・普及と花育活動の推進による新たな需要開発調査事業	我が国の花き産業の多彩な振興を図るため、花き新品種の開発・普及と花育活動の推進を通じて、新たな花きの需要開発と花文化の向上を図り、我が国花き産業のブランド化を推進するために必要となる取組を行う。	(財) 日本花普及センター	5,928	5,928	平成19年6月22日
13	育成者権の迅速取得に向けた植物品種特性分類調査項目の国際調和	品種登録制度において、すでに日本の審査基準として利用されている品種特性分類調査項目を、世界の共通調査項目に調和させるため、品種特性分類調査項目の見直しを行う。	(社) 農林水産技術情報協会	9,950	9,950	平成19年6月27日
14	先端施設・機器装備化による超効率追求型酪農経営の検討	搾乳ロボット、哺乳・哺育ロボットなど、ITを活用した飼養管理や、それら複数の新装備を組み合わせて飼養管理をする経営体と従来型の経営体とを調査し、比較検討して課題を明らかにするとともに、革新的畜産技術の活用等による畜産物生産のあらたな展開の検討を行う。	(社) 中央畜産会	6,080	6,080	平成19年6月20日
15	「和牛」統一マークの策定・普及事業	我が国固有の和牛の特性・優位性について、国内外の消費者の理解を深め、国際競争力をもったブランド化を推進するため、和牛の統一マークを策定し、その普及を図るとともに、和牛に関する正しい知識の普及・啓発等を行う。	(社) 中央畜産会	9,958	9,958	平成19年6月20日
16	農林水産分野における知的財産の創造・保護・活用推進事業	農林水産の現場、地域において、知的財産の活用に関するアドバイス等のできる専門家を養成するための講座等を開催するとともに、農林水産分野の指導者を対象としたテキスト「農林水産分野の知的財産(中級編)」を作成し、関係者へ広く配布する。	(社) 農林水産先端技術産業振興センター	9,691	9,691	平成19年6月8日
17	中国における育成者権取得と権利行使のモデル構築事業	我が国で登録された品種を、モデル的に中国へ出願して、育成者権を取得するとともに、利用許諾契約等まで行い、併せて、その一連の手続きに関するマニュアルを作成し、標準的なビジネスモデルを構築する。	(社) 農林水産先端技術産業振興センター	9,322	9,322	平成19年6月8日
18	野菜ブランド化推進調査事業(野菜のおいしさ調査事業)	国産野菜のブランド化の推進を図るため、野菜のおいしさ検討委員会等を開催し、野菜のおいしさに係る指標の検討、野菜のおいしさの普及・啓発手法の検討及びモデル実証等の取組を実施する。	特定非営利活動法人 野菜と文化のフォーラム	8,999	8,999	平成19年6月18日